

# 道徳通信

大田区立馬込第三小学校

東 山 良 彦

道 徳 部

令 和 4 年 1 月 1 8 日

第 4 号

皆様、明けましておめでとうございます。3学期が始まりました。1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われるように今年度も残りあと、わずかです。2月には道徳授業地区公開が予定されています。毎週の道徳科の授業を大切にしながら、子供たちと一緒に、様々な考えについて話し合いながら、学びを深めていきます。

さて、第4回道徳通信では、道徳科の授業の内容について詳しく紹介します。

## 特別の道徳科の内容について

道徳科では、教科書に載っている話を中心に学習を進めます。読み物教材が多く、くすっと笑えたり、なるほどと納得したり、いやいや、そうは上手くはいかないでしょうと思うこともあるかもしれません。道徳科の内容で学習する内容は以下のようになっています。低学年では19項目、中学年では20項目、高学年では22項目です。これらの項目を、年間を通して計画的に授業を行っています。

善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	個性の伸長	節度、節制	希望と勇氣、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、 集団生活の充実	伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善	生命の尊さ	自然愛護	感動、畏敬の念	よりよく生きる喜び
低学年内容		低学年内容		低学年内容																	
中学年内容		中学年内容																			
高学年内容																					

これらの内容は、子供たちの日常生活の中で、頻繁に自分の経験を通して、感じたり考えたりしているものもあれば、意識しないと実感できないものもあります。

例えば・・・

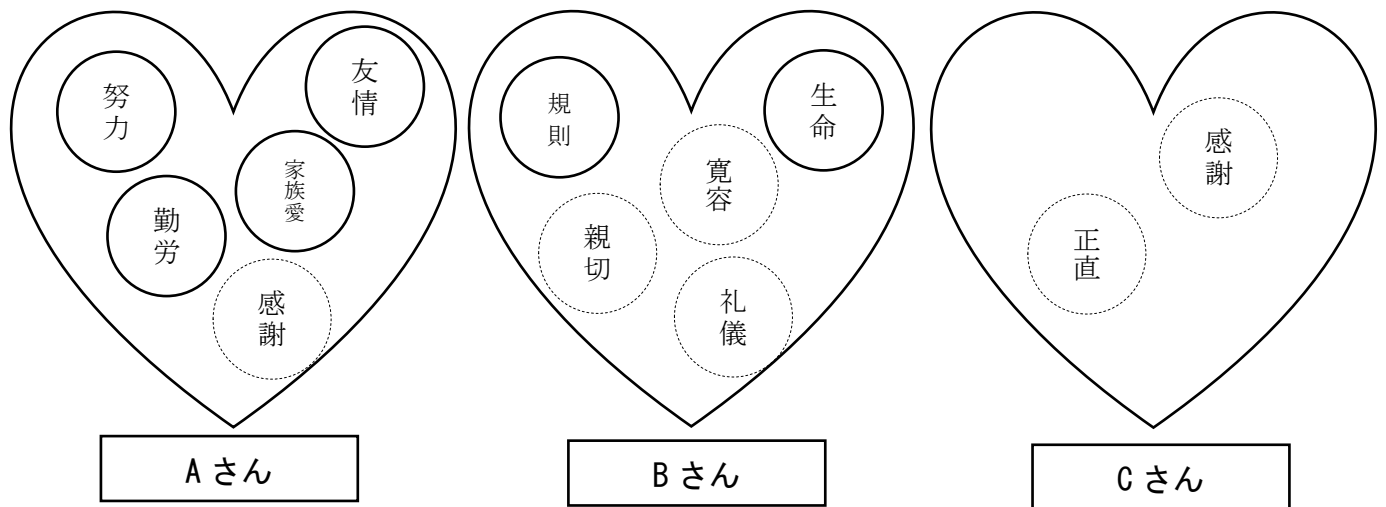
「友情、信頼」については、子供たちの日常の中で、友達の大切さやよさを実感できる出来事が多くみられます。「努力と強い意志」も自分の目標に向かって努力することは、もしかしたら、大人の私たちよりも子供たちの方が切実に感じている内容かもしれません。一方、「公正、公平、社会正義」については、そのよさを改めて見つめ直す場面がないと、実感しにくいことかもしれません。また、「個性の伸長」や「自由と責任」などは、普段からしっかりと考えられる環境の中であれば、自分自身を見つける機会も多くありそうですが、そうでない場合は、全く考えずに過ごしてしまう可能性もあります。学校の教育活動全体を通して、また道徳科の授業の中で、それらの経験をじっくりと思い出し、振り返ることで、子供たち自身が、これからの自分自身の生き方を考えるきっかけになればと思っています。



裏面へ

# 心の中をのぞいてみましょう

心の中は、なかなか目には見えないものなので、形にイメージしてみました。



ハートの中を一人の心だと思ってください。実線の○は、行動として表れる道德性です。点線の○は、まだ、実践に結び付かないけれど、その子の心に育ちつつある道德性です。

例えば、Aさんは「友情」「勤労」「家族愛」「努力」は実際に行動として表れています。友達と協力したり、自分のやるべき仕事を一生懸命に行う態度が見られたりします。ただ、「感謝」については、気持ちはあるけれども、行動するまでには至っていないかもしれません。だからといって、感謝の気持ちがないわけではありません。きっと、これからの生活の中で点線が濃くなり、行動として表れることもあると思います。

Bさんかというと、実践に結びつく道德性は少ないかもしれません。ただ、心の中では、様々なことを感じていたり考えていたりするのではないのでしょうか。日頃の道德教育や、毎時間の道德科の授業を通して、点線の部分が実線に変化していくことが期待されます。

Cさんかというと、AさんやBさんに比べると隙間がたくさんあります。小学生の子供たちの心はCさんのような状況かもしれません。まだまだ道德性が十分に備わっていないからこそ失敗も多く、隙間がたくさんあるような状況です。しかし、この心の隙間はいけないものではありません。隙間があるからこそ、道德科の授業を積み重ねていくことによって、新たな道德性を吸収できるのではないのでしょうか。つまり、隙間とは素直さと言い換えることができます。

さて、我々大人の心は、今、どんな状況になっているのでしょうか。道德性が詰め込まれすぎていませんか。それとも、まだ隙間は残されていますか。もしかしたら、一つの道德性だけが異常に膨らんでいたりするかもしれません。そこに新たな道德性が入ってこようとしたら、跳ね返してしまうかもしれません。これを頑固というのでしょうか。

子供たちは、まだまだ吸収できる素直な心をもっているからこそ、道德科の授業で、新たな考え方や感じ方に出会うことにより、心が豊かになっていくと考えられます。子供たちの心の中が育まれるように、日々の道德授業を大切にしていきたいです。そして、私たち大人も心の中を豊かにしていきたいですね。

